

令和6年度（令和5年度実施）鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の骨子について

令和5年1月18日
鳥取県教育委員会

このことについて、以下のとおり公表します。

なお、以下に記載のない事項については、令和5年3月27日公表予定の「令和6年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」によります。

1 主な変更点（詳細は該当する項目を参照）

- 試験実施からA登載者発表までの試験日程を早めます。（2（2）～（4）参照）
- 全試験区分の第一次選考試験を関西会場でも実施します。（2（2）参照）
- 適性検査を第二次選考試験の試験項目へ変更するとともに、指定期間内でのWeb実施とします。（4（1）及び6（2）参照）
- 一般選考における中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）において、一定の英語に係る資格を有する者を対象として一次選考試験のすべてを免除します。（4（4）参照）
- 特別選考である「県内公立学校の講師等を対象とした選考」における受験資格に上限回数を設けます。（5参照）
- 特別選考である「教職大学院修了者を対象とした選考」は廃止します。
- 特別選考である「普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考」の対象試験区分・教科（科目等）に中学校教諭「技術」・「家庭」及び高等学校教諭「家庭」を追加します。（5参照）
- 一般選考における併願制度において、特別支援学校教諭志願者による中学校教諭、高等学校教諭への併願を廃止します。（4（2）参照）
- 第二次選考試験において実施する技能・実技試験（ICT活用）を全試験区分で実施します。（4（1）参照）
- 一部の試験区分（教科（科目等））において、専門試験（筆記試験）の試験時間を短縮します。（6（1）参照）

2 試験日程及び試験会場等

（1）実施要項の交付及び出願期間

申込方法	期 間
電子申請	令和5年3月27日（月）正午～4月20日（木）午後5時

（2）第一次選考試験

試験日	試験区分	会 場
令和5年6月11日（日）	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、 特別支援学校教諭、養護教諭	関西会場及び鳥取会場

※全試験区分（併願を含む）の試験を同一日で実施します。

（3）第二次選考試験

令和5年8月4日（金）～8月12日（土）までの間（予定）で、指定する1日又は2日

（4）結果の公表

第一次選考試験結果：令和5年7月14日（金）（予定）

第二次選考試験結果：令和5年9月15日（金）（予定）

3 受験資格

採用時に60歳に達していない者（昭和39年4月2日以降に出生した者）

4 一般選考における内容

(1) 試験内容

	試験項目	試験区分	試験内容等		
第一次 選考試験	一般教養	全試験区分	一般常識を問う筆記試験（マークシート方式）		
	専門試験 (筆記試験)	小学校教諭	標準型	傾斜配点なし	国語、社会、数学、理科、英語の各教科及び教職教養に関する筆記試験（マークシート方式） ※一部、特別支援学校教諭との共通問題を含む。
			数理型	数学、理科の得点を1.5倍（社会、英語の得点を0.5倍）する。	
		中学校教諭	教科及び教職教養に関する筆記試験		
		高等学校教諭	教科（科目等）及び教職教養に関する筆記試験		
		特別支援学校教諭	特別支援教育、国語、社会、数学、理科、英語の各教科及び教職教養に関する筆記試験（マークシート方式） ※一部、小学校教諭との共通問題を含む。		
養護教諭	養護教諭及び教職教養に関する筆記試験（マークシート方式）				

※小学校教諭における専門試験（筆記試験）の受験型（標準型又は数理型）は、電子申請で出願する際に選択する必要があります。（志願試験区分に限ります。）

	試験項目	試験区分	試験内容等
第二次 選考試験	適性検査	全試験区分	職務適性等を測る検査（ 第一次選考試験結果の公表以降、指定する期間内にWeb実施 ）
	技能・実技試験 又は 専門試験 (技能・実技試験)	小学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭	技能・実技試験（ICT活用）
		中学校教諭	技能・実技試験（ICT活用）：全教科 専門試験（技能・実技試験）：一部の試験区分・教科
		高等学校教諭	技能・実技試験（ICT活用）：全教科 専門試験（技能・実技試験）：一部の試験区分・教科（科目等）
	集団面接	全試験区分	グループワークを含む集団面接
	個人面接	全試験区分	場面指導を含む個人面接

(2) 併願制度

志願する試験区分（志願試験区分）・教科の普通免許状に加え、併願できる試験区分（併願試験区分）・教科の普通免許状を有する者又は令和6年3月31日までに取得見込みの者は、下表により併願が可能です。

志願試験区分	併願試験区分			
	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	特別支援学校教諭
小学校教諭		☆		◎
中学校教諭	◎			◎
高等学校教諭				◎
特別支援学校教諭	◎	廃止	廃止	

◎：併願試験区分の専門試験（筆記試験）及び技能・実技試験の受験は必要ありません。

☆：志願試験区分の試験項目に加え、併願試験区分・教科（科目等）の専門試験（筆記試験）及び専門試験（技能・実技試験）の受験が必要です。

(3) 加点制度

資格や要件によって、次の①又は②のいずれか一方の加点制度を利用できます。

① 英語に関する資格の所有者として志願する者

下表の対象試験区分の志願者で、各基準を満たすいずれかの資格の所有者に対して、専門試験（筆記試験）（併願試験区分がある者については、志願者試験区分の専門試験（筆記試験）に加えて、併願試験区分の専門試験（筆記試験））の得点に各基準に応じた点数を加点します。（TOEFLはITPテスト、TOEICはIPテスト等公式スコアとして認められないものは除きます。）

対象試験区分	基 準				加 点
	実用英語技能検定	TOEFL	TOEIC L&R	TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコア	
特別支援学校教諭	1 級	iBT100 点以上 又は PBT 600 点以上	880 点以上	1680 点以上	25 点
高等学校教諭（英語） 特別支援学校教諭	準 1 級	iBT 80 点以上 又は PBT 550 点以上	730 点以上	1405 点以上	20 点
小学校教諭 特別支援学校教諭	2 級	iBT 45 点以上 又は PBT 470 点以上	550 点以上	1100 点以上	10 点
	準 2 級	iBT 38 点以上 又は PBT 400 点以上	450 点以上	925 点以上	5 点

※TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコアは、次により算出する。

$$(\text{合算スコア}) = (\text{L\&R トータルスコア}) + (\text{Sスコア}) \times 2.5 + (\text{Wスコア}) \times 2.5$$

※「中学校教諭（英語）」においては、実用英語技能検定準 1 級程度以上の資格の所有者、「高等学校教諭（英語）」においては、実用英語技能検定 1 級程度の資格の所有者には、試験内容の一部免除として、第一次選考試験のすべてを免除します。（4（4）②参照）

※小学校教諭において、実用英語技能検定準 1 級程度以上の資格の所有者は、特別選考への出願が可能です。

② 複数免許状所有者として志願する者

下表の対象試験区分の志願者で、対象試験区分・教科の免許状を取得済みの者で、各要件を満たす者に対して、専門試験（筆記試験）（併願試験区分がある者については、志願試験区分の専門試験（筆記試験））に加えて、併願試験区分の専門試験（筆記試験）の得点に加点します。（ただし、出願時点で複数免許状を取得済みの者に限ります。）

免許状の種類（専修免許状、一種免許状、二種免許状）は問いませんが、特別免許状及び臨時免許状は除きます。

対象試験区分	要 件	加 点
小学校教諭	・中学校教諭普通免許状所有者（教科は問わない。）	10 点
中学校教諭	以下の何れかの免許状所有者 ・小学校教諭普通免許状所有者 ・中学校教諭普通免許状「技術」所有者（技術を志願する者は除く。） ・中学校教諭普通免許状「家庭」所有者（家庭を志願する者は除く。）	
特別支援学校教諭	・小学校教諭普通免許状、中学校教諭普通免許状、高等学校教諭普通免許状のうち、2つ以上所有している者（教科は問わないが、同一校種で2教科の免許状は除く。）	
高等学校教諭	・高等学校教諭普通免許状「情報」所有者（情報を志願する者は除く。）	

(4) 試験内容の一部免除

- ① 令和4年度に実施した「令和5年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験」の結果が「B登載者」(辞退者等を除く)であった者が、令和6年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験において、同じ試験区分(前年度試験において、併願する試験区分が「B登載者」の者は、同じ併願試験区分・教科(科目等)に限る。)、教科(科目等)を受験する場合に限り、試験の一部を次のとおり免除します。

※「B登載者」の者は、特別選考への出願はできません。

小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	第一次選考試験のすべて及び第二次選考試験の技能・実技試験 (ICT 活用) を免除します。
中学校教諭・高等学校教諭	第一次選考試験のすべて及び第二次選考試験の技能・実技試験 (ICT 活用) 並びに専門試験 (技能・実技試験) を免除します。

- ②「中学校教諭(英語)」、「高等学校教諭(英語)」の試験区分において、以下の各基準を満たす者は、第一次選考試験のすべてを免除します。

試験区分	実用英語技能英検	TOEFL	TOEIC L&R	TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコア
高等学校教諭	1 級	iBT100 点以上 又は PBT 600 点以上	880 点以上	1680 点以上
中学校教諭	準1 級以上	iBT 80 点以上 又は PBT550 点以上	730 点以上	1405 点以上

※TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコアは、次により算出する。

$$(合算スコア) = (L \& R \text{ トータルスコア}) + (S \text{ スコア}) \times 2.5 + (W \text{ スコア}) \times 2.5$$

5 特別選考

特別選考については、次のとおり募集します。

- I 障がいのある者を対象とした選考(併願可能)
- II スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考(試験免除あり)
- III 現職教諭を対象とした選考(試験免除あり)
- IV 県内公立学校の講師等を対象とした選考(連続受験回数は5回を上限とします。)
 ※令和6年度試験を1回目としてカウントします。(既受験回数は連続受験回数には含みません。)
 ※連続受験回数とは、試験区分、教科(科目等)の試験が実施されなかった年度を除いた受験回数です。
- V 英語力に優れた者を対象とした小学校教諭選考(試験免除あり、小学校教諭一般選考を併願可能)
- VI 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考(中学校教諭「技術」「家庭」、高等学校教諭「家庭」「工業」「水産(食品)」「農業」「商業」)

※令和6年度選考試験において、上記すべての試験区分、教科(科目等)の実施を示すものではありません。

6 その他

(1) 第一次選考試験における専門試験（筆記試験）の試験時間

次のとおり試験時間を変更します。

試験区分等	変更の有無	令和6年度 選考試験	(参考) 令和5年度 選考試験
小学校教諭	—	60分	60分
中学校教諭	—	60分	60分
高等学校教諭 (国語、地理・歴史(世界史、日本史、地理)、 数学、理科(物理・地学、化学、生物)、英語)	○	<u>75分</u>	80分
高等学校教諭 (保健体育、芸術(音楽、美術、書道))	—	60分	60分
高等学校教諭 (上記以外)	○	<u>60分</u>	80分
特別支援学校教諭	—	60分	60分
養護教諭	—	60分	60分

○ 変更あり — 変更なし

※令和6年度選考試験において、上記の全ての試験区分・教科(科目等)の実施を示すものではありません。

(2) 第二次選考試験対象者に対する適性検査について

第一次選考結果公表以降、第二次選考試験対象者に受験用のURL等を送付します。指定する期間内に必ず受験者本人がWeb受験します。

※受験者本人以外が関与する等の不正等が判明した場合は、それ以降の受験はできません。また、名簿登載後に同様の不正等が判明した場合は、名簿登載を取り消します。